



科学技術外交 シンポジウム

「科学技術を通じた 日本外交の新たな方向」



岸田文雄
外務大臣



島尻安伊子
内閣府科学技術政策担当大臣



岸輝雄
外務大臣科学技術顧問

日時: 2016年5月24日(火) 18:00~19:40(開場17:30)

場所: 政策研究大学院大学 想海樓ホール(地図裏面)

プログラム

18:00

基調発言

開会

島尻安伊子 内閣府科学技術政策担当大臣

白石隆 政策研究大学院大学長

岸輝雄 外務大臣科学技術顧問

「科学技術外交のこれから」

村山斉 東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構長

「科学技術外交と世界平和」

岸田文雄 外務大臣

パネルディスカッション

18:40

テーマ: 「科学技術外交を通じた日本外交の新たな方向」

岸輝雄 外務大臣科学技術顧問

小林喜光 三菱ケミカルホールディングス取締役会長

田中明彦 東京大学東洋文化研究所教授

渡辺美代子 科学技術振興機構副理事

村山斉 東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構長

角南篤 政策研究大学院大学副学長(モデレーター)

閉会

19:35

戸谷一夫 文部科学省文部科学審議官

(総司会: 有本建男 政策研究大学院大学教授)

参加方法

こちらのURLよりお申し込みください。 <https://krs.bz/scirex/m?f=69>

(締切: 5月23日(月) 正午 ※但し、定員に達し次第締め切り。)

* 事前申込みのない方はご入場をお断りさせていただきます。

* 取材希望の方は、下記問合せ先までお問い合わせください。

ホームページ: <http://scirex.grips.ac.jp/center/ja/959>

問合せ: eriko.kishida@mofa.go.jp (担当: 外務省 岸田)



日英同時通訳有り
参加費無料

携帯電話やインターネットの発達。生命や宇宙に関する新たな発見。近年の科学技術の進歩は、世界の人々の生活や経済・社会のあり方を劇的に変えている。

国際社会は、協力して、科学技術の力を活かし、地球環境、感染症、テロ・災害、

高齢化、貧困・格差などの課題に、科学的根拠のある効果的な解決策を導き、平和で持続的な社会を実現していかなければならない。

日本は、2日後から始まるG7伊勢志摩サミットをホスト。8月末には、日本が主導するアフリカ

開発会議の開催を控える。日本は、科学技術の力で世界をリードすることができるか。

外務大臣科学技術顧問と日本を代表する研究開発、人材育成、産業、国際関係の各分野の論客が議論する。



内閣府(予定)



外務省



文部科学省



経済産業省



科学技術振興機構



政策研究大学院大学



日本経済新聞社

昨年9月、岸田文雄外務大臣は、我が国の優れた科学技術を外交に活かしていくため、初の外務大臣科学技術顧問を任命し、「科学技術外交」の強化に取り組んでいる。

岸輝雄外務大臣科学技術顧問(外務省参与)

東京大学名誉教授、新構造材料技術研究組合理事長、内閣府政策参与(科学技術政策・イノベーション担当)、科学技術振興機構 国際科学技術協力共同研究推進事業(SICORP)運営統括、物質・材料研究機構名誉顧問(いずれも現職)

挨拶



白石 隆 政策研究大学院大学学長・科学技術外交推進会議委員

1972年東京大学教養学部卒業。同大学助手、助教授を経て1986年にコーネル大学より博士号(歴史)を取得。1987年コーネル大学助教授に就任、同大学准教授、教授を経て1996年京都大学東南アジア研究センター教授。2005年に政策研究大学院大学(GRIPS)教授・副学長に就任。2007年より日本貿易振興機構アジア経済研究所所長を兼任。2009年に内閣府総合科学技術会議常勤議員、2011年同非常勤議員、GRIPS学長。2007年紫綬褒章受章。2015年「講書始めの儀」の進講者を務める。

パネルディスカッション モデレーター



角南 篤 政策研究大学院大学副学長・科学技術外交推進会議委員

1988年ジョージタウン大学School of Foreign Service卒業。コロンビア大学国際関係・行政大学院Reader、同大学国際関係学修士、英サセックス大学科学政策研究所TAGSフェローを経て、2001年コロンビア大学政治学博士号(Ph.D.)取得。(独)経済産業研究所フェロー、GRIPS教授等を務め、2015年11月より内閣府参与(科学技術・イノベーション政策担当)、2016年4月より副学長就任。

総合司会



有本 建男 政策研究大学院大学教授・科学技術イノベーションプログラム・ディレクター・科学技術外交推進会議委員

1974年京都大学大学院理学研究科修士課程修了、科学技術庁入庁。内閣府大臣官房審議官(科学技術政策担当)、文部科学省科学技術・学術政策局長、内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官等を経て、2006年から、(独)科学技術振興機構社会技術研究開発センター長、研究開発戦略センター上席フェロー。OECD科学的助言プロジェクト・共同議長。

閉会挨拶



戸谷 一夫 文部科学省文部科学審議官

1980年、科学技術庁入庁。文部科学省大臣官房会計課長、同大臣官房審議官(高等教育局担当)、同研究開発局長、同大臣官房長等を歴任し、2015年8月より現職。

パネリスト



小林 喜光 株式会社三菱ケミカルホールディングス取締役会長

1971年東京大学理学系大学院相関理化学修士課程修了後、イスラエル・ヘブライ大学物理化学科、イタリア・ピサ大学化学科留学を経て、74年三菱化成工業(現:三菱化学)入社。中央研究所研究開発室、半導体研究所、三菱化学メディア社長、三菱化学常務執行役員CTO兼三菱化学科学技術研究センター社長兼三菱化学生命科学研究所代表取締役等を経て、2007年三菱ケミカルホールディングス社長、15年より現職。産業競争力会議議員。経済同友会代表幹事。COGN理事長。理学博士。



田中 明彦 東京大学東洋文化研究所教授、前JICA理事長・科学技術外交推進会議委員

1977年東京大学教養学部卒業、81年マサチューセッツ工科大学政治学部大学院修了(Ph.D.)。東京大学教養学部助教授、東洋文化研究所教授・所長、大学院情報学環教授、国際連携本部長、理事、副学長なども歴任。2015年10月より現職。著書に『新しい「中世」』(日本経済新聞社、1996年、サントリー学芸賞受賞)、『ワード・ポリティクス』(筑摩書房、2000年、読売・吉野作造賞受賞)、『ポスト・クライシスの世界』(日本経済新聞出版社、2009年)など。2012年紫綬褒章受章。



渡辺 美代子 国立研究開発法人科学技術振興機構副理事

1979年東京理科大学理学部物理学科卒業、同年東芝総合研究所研究員。1986年ダルハウジー大学ポスドク。1996年アトムテクノロジー研究体研究員、1997年英国バーミンガム大学研究員を経て、2002年東芝研究開発センター材料応用技術センター長、2006年同研究開発センター技術管理部門長、2009年同イノベーション推進本部経営変革統括責任者。2014年より科学技術振興機構執行役(現・副理事)同機構にて科学コミュニケーションセンター長とダイバーシティ推進室長を併任し、サイエンスアゴラおよびジェンダーサミット10双方の議長となっている。文部科学省科学技術・学術審議会委員等。



村山 斉 東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構長

理論物理学者。素粒子・初期宇宙論を専門とし、超対称性理論、ニュートリノなどを研究。1991年東京大学理学系大学院物理学専攻博士課程修了、理学博士。東北大学助手、ローレンス・バークレイ国立研究所研究員を経て現在、カリフォルニア大学バークレー校物理学MacAdams冠教授であり、東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構初代機構長を務める。アメリカ物理学会メンバー、アメリカ芸術科学アカデミー会員、日本学術会議 連携会員。2002年西宮湯川記念賞受賞。



政策研究大学院大学
東京都港区六本木
7-22-1
(1階 想海樓ホール)
最寄駅:
都営大江戸線六本木駅、東京メトロ日比谷線六本木駅、東京メトロ千代田線乃木坂駅